

スポーツクライミング

スポーツクライミングとは？

垂直にそり立つ壁をカラフルなホールド(岩に似せた突起物)を使って道具を持たずに自身の体一つで登る競技。

東京2020大会では「ボルダリング」「リード」「スピード」の3種目を行い、その総合成績でメダルを競う。

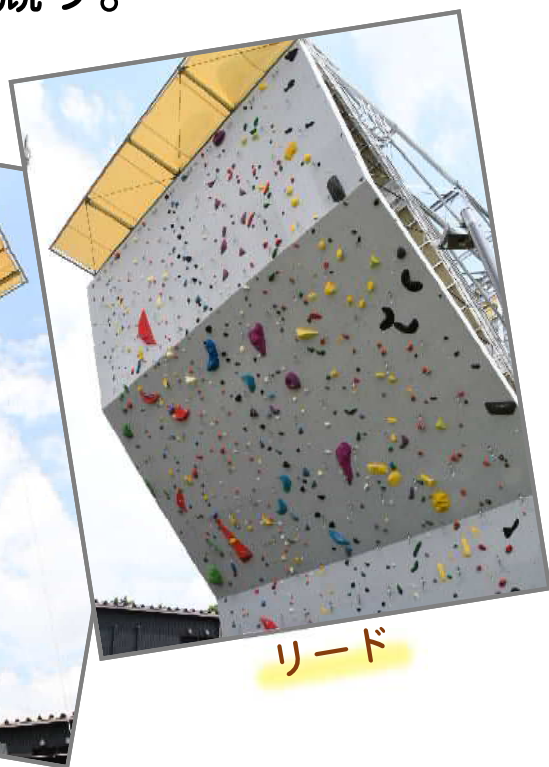


ボルダリング

写真：東金町運動場スポーツ
クライミングセンター
(東金町8-31-1)



スピード



リード

3種目のルール・特徴

ボルダリング

高さ5m以下の壁に設定された複数のコースを制限時間内に“いくつ登れるか”を競う。時間内であれば何度でも同じコースにトライできるが、少ない回数で登ることも重要な要素となる。

リード

高さ15m以上の壁に設定されたコースを制限時間内に“どこまで高く登れるか”を競う。途中で落ちた場合はそこが記録となり、再トライはない。

スピード

高さ15mの壁に設定された隣り合う同一のルートに2人の選手が駆け登り“どちらが速く登れたか”を競う。フライングは一発で失格となる。